

1. 沖縄県内の地域および院内がん登録の実施状況を公開する。

目 標：昨年度行った地域および院内がん登録の実施調査の結果を更新し、公開する。

(対象施設 25 施設)

実 績： 協議未実施

評 価： 1 点

次年度：院内がん登録の実施状況を調査し、協議会のホームページで更新する。

2. 確実に院内がん登録が実施できるよう、「実務支援」や「見学会」を実施する。

目 標：確実に院内がん登録が実施できるよう、「実務支援」や「見学会」を実施する。

実 績：今年度から新たに実務支援を目的に実務者交流会を企画・開催した。その中で、ケースファインディング（がん患者の見つけ出し）の方法についてとりあげた。ケースファインディングの方法は、各施設で利用している院内システムが異なるとの理由から、統一化された方法がなく施設によって多種多様である。各施設のケースファインディング方法や利用しているデータについて情報交換をおこない、実務者間で情報共有を図ることができた。他にもがん登録業務を行うための業務体制（人員の配置数、院内の協力体制など）はどうなっているのか、集計・分析業務の取り組みについて意見交換がおこなわれ参加者からも好評を得た。（参加者 33 名 県内 11 施設）

評 価： 5 点

次年度：がん登録の法制化に伴い、各施設で新たにがん登録を始める施設が増えることが想定されるため、がん登録をはじめめるにあたっての説明会を企画・開催する。

3. 地域および院内がん登録の実施を義務化する。

目 標：2014 年 3 月までに沖縄県でがん条例が成立される。

実 績：協議未実施

評 価： 1 点

次年度：法律制定に伴い部会の事業計画から削除する。

4. がん登録部会の活動の学会報告および実績を論文化する。

目 標：毎年演題を出し、部会委員が発表する。

実 績：1) 第 39 回日本診療情報管理学会学術大会

開 催 日：平成 25 年 9 月 5 日～平成 25 年 9 月 6 日

会 場：つくば国際会議場

演題) 日本版 Collaborative Staging を利用したがん診療の質の評価のための指標項目の抽出と測定

琉球大学医学部附属病院 仲本奈々

演題) 当院におけるがん診療の質の評価とフィードバックすることでの改善策の検討

那覇市立病院 平安政子

演題) 当院における大腸癌診療の質の評価に関する取り組み

中部徳洲会病院 安里邦子

以上の演題を日本診療情報管理学会学術大会で発表を行った。

評 価： 8 点

次年度：引き続き学会活動を継続し、部会事業の評価を行う。

5. 地域がん登録情報の定期開示の方法を改定する。

目 標：地域がん登録情報の定期開示の時期や内容について、沖縄県地域がん登録担当者共同でがん登録部会にて検討を行う。

実 績：2013年11月27日に、地域がん登録を行っている沖縄県衛生環境研究所へ訪問した。地域がん登録の実務者と、3拠点病院の実務者間でそれぞれの登録方法や、集計方法、報告書に関する意見交換を行った。報告書の内容について、地域がん登録に提出した施設別で集計が出せないか伺ったところ、現状では個人情報の問題もあり難しいとのことだった。

評 価：3点

次年度：拠点病院のがん登録情報を定期的に開示する。

6. 沖縄県全体で予後調査方法を統一する。

目 標：沖縄県全体で予後調査方法を統一できるよう検討していく。その後、生存率の計測を進めていく。

実 績：拠点病院については国立がん研究センターが実施する予後調査支援事業に参加するよう呼びかけを行った。また拠点病院以外の施設に関しては、来沖していた国立がん研究センターの東尚弘先生をお招きし、その日開催していた実務者交流会で、予後調査の方法や生存率の算出方法について話をしていただいた。また、各施設の予後調査方法や生存率の算出方法などについて意見交換を行い、今後の予後調査方法検討のための現状把握・問題点の把握につながった。

評 価：4点

次年度：拠点病院で予後調査を実施し5大がんの生存率を算定する。

7. 沖縄県内でがん登録研修会を企画・開催する。

目 標：年に4回開催し、200名の実務者が参加する。

実 績：今年度の研修会の日程は、2013年6月29日（土）、8月10日（土）、11月16日（土）である。平成25年度第1回がん登録研修会（6月29日）では、浦添総合病院の小橋川嘉泉先生をお招きし、胆道がん・膵がんについて講演して頂いた。第2回がん登録研修会（8月10日）は、福井県立病院の海崎泰治先生をお招きし泌尿器系腫瘍に関する講演して頂いた。第3回がん登録研修会（11月16日）は、広島市立広島市民病院の梅本礼子先生をお招きし乳がんについて講演して頂いた。第4回がん登録研修会は、2014年2月15日（土）に病理の基礎とレポートの読み方をテーマに開催する予定である。今年度の参加者数は、第1回がん登録研修会85名、第2回がん登録研修会73名、第3回がん登録研修会75名であり、いずれも好評を得た。（参加総数233名）

評 価：10点

次年度：引き続き研修会を継続し、研修会の評価を行う。

8. 国立がん研究センターの実務者研修会に参加する。

目 標：平成26年3月までに、25施設すべてで初級修了者が誕生する。

実 績：協議未実施

評 価：1点

次年度：平成26年3月末時点の各施設の院内がん登録初級者研修修了者数を調査する。

9. 厚生労働省科学研究(第三次対がん総合戦略研究)「院内がん登録の標準化および普及に関する研究」班(主任研究員西本寛)の Collaborative staging の研究に協力する。

目 標:平成 25 年 3 月までに、拠点病院で 2013 年症例の 5 大がんを対象に、Collaborative staging 登録を行う。

実 績:平成 25 年 3 月 14 日に沖縄の Collaborative staging 研究概要の確認を行った。平成 26 年 1 月から 2013 年症例の 5 大がんを対象に、Collaborative staging 登録を開始した。胃がん、大腸がん、肺がん、肝がん、乳がんの登録を平成 26 年 10 月までに終了する予定である。

評 価:8 点

次年度:平成 26 年 3 月までに、拠点病院で Collaborative staging の登録結果を分析する。

10. 拠点病院においてがん診療の質の評価を行う。

目 標:平成 26 年 3 月までに、拠点病院のがん診療の質の評価を行うため 2011 年症例の胃癌・大腸がんを対象に Q I の測定・評価を行う。

実 績:平成 25 年 7 月から各施設で 2011 年症例の大腸癌と胃癌について Q I の採録を開始した。胃癌については各施設で採録が終了している。大腸がんの採録は、平成 26 年 1 月までに終了する予定である。

評 価:10 点

次年度:拠点病院のがん診療の質の評価を行うため Q I の測定・評価を継続的に行う。

11. 院内外に広報活動を行う。

目 標:各拠点病院の報告書を作成する。

実 績:各拠点病院の院内がん登録報告書について、国立がん研究センターのがん診療連携拠点病院院内がん登録全国集計報告書や各県で作成されている集計報告書を参考に、報告書の内容を修正した。また、これまで集計表のみだった報告書にグラフやイラストを追加し、幹事会や協議会で意見を伺うなど報告書作成に取り組んでいった。現在、報告書の冊子製本に向けて準備をおこなっている。

評 価:8 点

次年度:各拠点病院の報告書の作成については、施策 5 で新たに取り組むこととなった。今後は、院内外の医療者だけでなく、がん患者や県民に向けた情報提供方法について検討していく。

日時：平成25年10月15日（火） 15:00～18:00

場所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

出席者：10名

安里邦子（中部徳洲会病院）、平安政子（那覇市立病院）、田場聡子（県立中部病院）、宮里貴子（北部地区医師会病院）、翁長道代（県立八重山病院）、戸倉さおり（県立宮古病院）、仲本奈々（琉大病院がんセンター）、天野明日香（医療の質向上センター）、福地美里（琉大病院がんセンター）

欠席者：比嘉初枝（県立中部病院）、増田昌人（琉大病院がんセンター）

陪席者：仲嶺八紀（県立中部病院）

[報告]

1. 平成25年度第3回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨（資料1）

平成25年度第3回沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨が承認された。

2. 平成25年度第2回院内がん登録研修会アンケート結果（資料2）

福地委員より、資料2に基づき平成25年度第2回院内がん登録研修会のアンケート集計結果と参加者の意見について報告があった。

3. 日本診療情報管理学会学術大会について（資料3）

仲本委員より、資料3に基づき日本診療情報管理学会学術大会の発表演題について報告があった。

[協議]

1. 平成25年度第3回院内がん登録研修会について（資料4）

田場委員より、現時点の進捗状況について報告があった。第3回院内がん登録研修会の講師を広島市民病院のがん登録指導者である梅本礼子先生に依頼し、乳がんの病期分類と院内がん登録データの活用と集計について講義を行うとの報告があった。また、第3回院内がん登録研修会のチラシについて検討を行った。検討を行った結果、チラシにプログラムの詳細と申し込み方法について追加することとなった。また、準備や集合時間、講師への事前質問について検討を結果下記の通りとなった。

①準備の分担について

県立中部病院が中心となって準備を行う。事務局は、開催通知などの研修会に関する文書のひな形を県立中部病院へメールすること、また沖研へ院内がん登録研修会の開催通知をメーリングすることとなった。

②集合時間 13:00集合

③事前質問について

- ・院内がん登録のフィードバックはどのように行っているのか。
- ・院内がん登録の集計やフィードバックにかかる時間はどれくらいかかるのか。
- ・広島市民病院のがん登録の体制について教えてほしい。
- ・院内がん登録の集計を行うときに使用するソフトについて教えてほしい。

2. 院内がん登録研修会参加証およびスタンプラリーについて（資料5）

仲本委員より、資料5に基づき本部会が企画開催している研修会について、参加者から参加証を発行してはどうかと提案があったとの説明があり検討を行った。本研修会は3拠点病院の持ち回りで開催していることもあり、管理が煩雑になることが危惧されるとの意見があった。協議を行った結果、参加証の発行は管理が煩雑になるため、スタンプラリーのカードを作成し、試験的に学生のみを対象に運用することとなった。スタンプラリーのカード案を福地委員が作成し、メーリング上で協議を行うこととなった。また、第3回院内がん登録研修会からスタンプラリーを開始することが承認された。

3. 沖縄県がん診療連携拠点病院集計報告書（案）について（資料6）

天野委員より資料6に基づき、沖縄県がん診療連携拠点病院集計報告書（案）のもくじおよび調査方法について内容の確認と検討をおこなった。検討した結果、国立がん研究センターの報告書に基づいて作成されているため変更はなく、沖縄県がん診療連携拠点病院集計報告書（案）作成に向け作業を進めていくこととなった。

4. 個人情報保護に関する院内ポスターについて（資料7）

仲本委員より、各施設で個人情報保護に関して何か取り組みを行っているかどうか意見を伺った。平安委員より、個人情報保護委員会を作成予定であることが伝えられた。また、翁長委員より個人情報保護委員会があることが伝えられた。また仲本委員より他県では個人同意の対応について、病院の個人情報保護規定に院内がん登録と予後調査を行っている旨を追加し、院内で個人情報保護についてのポスターを掲示して周知をおこなっている施設もあると報告があった。仲本委員より、琉大病院では資料7のポスター案を作成中であることが伝えられた。資料7のポスター案をもとに、統一したポスターを作成し、各病院で利用してはどうかといった意見があった。部会で内容について検討を行った結果、資料7の「②臓器がん登録への情報提供にする」と、一部内容の変更をおこなった。

5. 平成25年度がん登録部会委員一覧（資料9）

仲本委員より、平成25年第2回沖縄県がん診療連携協議会にて各部会に患者委員の追加について意見があがったとの報告があった。委員選定の方法は、部会委員各自で該当者が見つからないため、沖縄県がん患者連合会に推薦していただく方向で進めることが承認された。

6. 次回の開催日程について

今回は2013年12月17日（火）15：00に開催することが承認された。

平成 2 5 年度 5 回 沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨

- 日 時 : 平成 2 5 年 1 2 月 1 7 日 (火) 1 5 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0
場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
出席者 : 1 0 名
安里邦子 (中部徳洲会病院)、平安政子 (那覇市立病院)、田場聡子 (県立中部病院)、
宮里貴子 (北部地区医師会病院)、仲本奈々 (琉大病院がんセンター)、天野明日香
(医療の質向上センター)、福地美里 (琉大病院がんセンター)
欠席者 : 比嘉初枝 (県立中部病院)、翁長道代 (県立八重山病院)、戸倉さおり (県立宮古病
院)、増田昌人 (琉大病院がんセンター)
陪席者 : 仲嶺八紀 (県立中部病院)

[報 告]

1. 平成 2 5 年度第 4 回 沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨 (資料 1)
平成 2 5 年度第 4 回 沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨が承認された。
2. 平成 2 5 年度第 3 回 院内がん登録研修会アンケート結果 (資料 2)
仲本委員より、資料 2 に基づき平成 2 5 年度第 3 回 院内がん登録研修会のアンケート
集計結果と参加者の意見について報告があった。
3. 院内がん登録研修会スタンプラリーについて (資料 3)
福地委員より、資料 3 に基づき院内がん登録研修会スタンプラリーについて報告があ
った。次回の平成 2 5 年度第 4 回 院内がん登録研修会でも実施することが承認された。
4. がん登録の個人情報利用についての調査報告書 (資料 4)
福地委員と仲本委員より、資料 4 に基づき沖縄県内の拠点病院および九州の拠点病院
で調査をし、その結果が報告された。

[協 議]

1. 平成 2 5 年度第 4 回 院内がん登録研修会について (資料 5)
資料 5 に基づき、第 4 回 院内がん登録研修会の日程およびテーマと講師について協議
を行った。2 月 2 8 日に、那覇市立病院で開催される研修会で、他県から院内がん登録
指導者が来沖しているため、2 月 2 8 日に都合が合えば講師をお願いできないかとい
った意見が上がった。また、講師の日程調整ができなかった場合のために、2 月 1 5 日の
通常開催の研修会について協議を行った。協議した結果、テーマを「病理の基礎と病理
レポート読み方」とし、講師を那覇市立病院新垣京子先生または、名桜大学の
大城真理子先生に依頼を行うことになった。2 月 2 8 日の件については仲本が確認し、
指導者による講義もしくは病理医による講義にするか決定することになった。
2. 平成 2 5 年度のがん登録事業計画について (資料 6)
仲本委員より、資料 6 に基づき今年度の事業計画について報告があった。報告をうけ、

次年度のがん登録事業計画について協議が行われた。協議した結果、施策3については、がん登録法ができたことをうけ、がん登録の事業計画から外すことが承認された。それに伴い施策2は、これまで実務支援や見学会の実施であったが、がん登録を開始する施設が増えることが予想されるため「がん登録をはじめるとの説明会」に変更することとなった。また施策5については、三拠点病院のがん登録情報を定期的に開示すると変更してはどうかと意見があがり承認された。最後に施策6については、現段階では沖縄県全体で予後調査を実施することが難しいという意見をうけ、施策6は拠点病院で予後調査を実施すると変更し、今後、沖縄県全体で実施可能か検討することとなった。

3. 平成25年度がん登録部会委員一覧（資料7）

がん登録部会委員の連絡一覧が確認された。

4. 次回の開催日程について

今回は2014年2月21日（火）15：00に開催することが承認された。